



かぜをひくと熱^{ねつ}がでるのはなぜ

にんげん たいおん いったい
人間の体温はふだんは一定

人間の体温は、ふだん、36度C～37度Cくらいにいつも保たれています。体温が、39度Cを越える高熱が続くと、体の組織がこわされて、もとにもどらなくなることもあり、生命にとってとても危険です。

ウイルスとたたかって熱^{ねつ}がでる

ふつうのかぜは、ウイルスが体の中に入ったためにおこるといわれています。ウイルスの数は、約200種類もあります。

ウイルスは鼻やのどのねんまくから入り、かぜをひかせるのですが、このウイルスをやっつけるために、白血球やリンパ球がはたらきはじめます。

こうしたしげきで、脳の一部分にある体温調節センターが、血液の温度を上げるよう命令を出すのです。こうして、体全体に熱が高くなっていくのです。

また、ウイルスは熱に弱いので、体が弱ってしまわない程度に熱を高くしておくと、ウイルスや細きんのはんしょくを防ぐこともできるのです。(監修 保志 宏)

